

第8回学研ヒルズ学際駅伝大会

変更点のまとめ

- 本実行委員会は2022年から「50年後、人とロボットは？」というテーマで、未来を「そうぞう」した作品を募集するはがき絵コンクールを実施しています。今年も実施しますが、その**応募作品を本駅伝大会当日に展示**します。
- 前回は新型コロナウイルス感染対策のため応援はご遠慮させて頂いておりましたが、**感染予防対策に準じたうえで応援を許可**します。
- 法整備に伴い**ロボットのコースを変更**しました。走行距離（約0.8km）に変更はありません。
- ロボット（区分 [R]）に関する注意事項
 - 仕様について
 - ◇ 法整備に伴い**道路交通法施行規則**第一条の六を参考にして、参加可能なロボットの仕様を定めました。ロボットを有するチームはご一読ください。
 - ◇ 前回は高さの上限がありませんでしたが、**高さ120cm以下**を追加しました。
 - 部門について
 - ◇ 前回はロボットの仕様に応じてベーシックまたはアドバンスの2部門に分類していましたが、参加するロボットの多様性を考慮し、以下**3部門**に変更しました。なお、以下における「人の介入」とは、人がロボットを押ししたり、運んだり、直接触れて進行方向を操作したりすることです。
 - **「直接操作」部門**：指定された仕様を満たし、かつ、人の介入が必要な場合（ex. 電動アシストキックボード、セグウェイ）
 - **「遠隔操作」部門**：指定された仕様を満たし、かつ、人の介入が不要な場合
 - **「自動動作」部門**：指定された仕様を満たし、かつ、以下5項目のうち3項目以上当てはまる場合
 - リモートコントローラ等の操作デバイスを必要としない（ex. 人追従）
 - 人間によるリアルタイムの操作を必要としない（ex. GNSSを用いた走行）
 - 環境認識が行動選択に反映されている（ex. 障害物回避）
 - オリジナリティがある（ex. 既存品をベースとして用いていない、車輪型ではない）
 - テクニカルポスター（A4一枚）を提出（HPにて公開）
 - 走行について
 - ◇ ロボットの走順に関して、前回は第1走者としていましたが、動物の走順に関する規定の変更に伴い、**同チームに動物がいる場合は第2走者にしても構いません**。

■ 動物（区分 [A]）に関する注意事項

- 動物の走順および走行時間に関して、前回は規定を定めていませんでしたが、**動物の競技時間を考慮して以下の規定を追加**しました。
 - ◇ 動物は第1走者とします。ただし、同チームにロボットがいる場合は第2走者にしても構いません。
 - ◇ 繰り上げ時間を20分とし、それまでに動物が完走できなかった場合は次のランナーがスタートします。
 - ◇ 最大走行時間を40分とします。

■ アドバンテージについて

- 動物アドバンテージ
 - ◇ 前回は動物の競技時間によらず一律3分としていましたが、前回大会の競技時間を考慮しより公平となるように、**競技時間に応じてアドバンテージタイムが異なる**ように変更しました。
- ロボットアドバンテージ
 - ◇ ロボットの部門数の変更に伴い、**前回のベーシック部門及びアドバンス部門のアドバンテージタイムをそれぞれ遠隔操作部門、自動動作部門に適用し、新たに直接操作部門用のアドバンテージタイムを追加**しました。